

2014 JUA/AUA Resident Program 参加報告

田 口 慧 (東京大)

この度、JUA/AUA Resident Program に派遣して頂き、2014年5月16日から21日まで、フロリダ州オーランドで開催された米国泌尿器科学会年次総会（AUA 2014 annual meeting）に参加して来ました。このプログラムは、日米の泌尿器科学会の交流事業の一環として約5年前から行われており、主に若手の泌尿器科医に対して、国際学会に参加する貴重なチャンスを与えています。例年プログラムの定員は2名でしたが、本年度からは欧州泌尿器科学会（EAU）との交流プログラム（定員3名）も新たに始まり、毎年5名へと大きく門戸が開かれています。

さて、これらプログラムの参加者には、学会参加費・宿泊費が無料となる他、レセプションや各種イベントへの参加等、様々な特典があります。特にこのJUA/AUA Resident Programは既に数年の歴史があることから、運営体制も整っており、現地のみならず渡航前後もしっかりサポートして頂きました。事務手続きは勿論のこと、タイムテーブルやレジデント向けプログラムの一覧等を、AUA側の運営の方が事前にメールして下さったお陰で、現地での時間を無駄なく過ごすことができました。また参加可能なイベントも多岐にわたり、通常のグランドレセプションの他、通常であれば参加できないレジデントレセプションにも特別に参加させて頂きました。さらにユニークだったのは、レジデントボウル（The AUA Residents Bowl）なる、レジデント同士がチームで戦うクイズ大会があり、我々（私と同行の石岡桂先生[慶応大]）は北中部地区の一員として参戦しました。残念ながら一回戦負けでしたが、アメリカの同世代の泌尿器科医と交流することができ、大変貴重な経験でした。また例年通りエモリー大学のRitenour先生がメンターとして現地での相談役をして下さり、ランチをご一緒した際には貴重なお話を色々聞かせて頂きました。

学術発表を見聞きするチャンスも沢山ありました。中でも、IC/PG coursesなる教育コース（特典でこちらも無料）は、非常に内容が充実しており、積極的に受講し



左から、著者、Gina Dorseyさん（AUA 運営担当）、石岡桂先生（慶應義塾大）

ました。「術中コンサルトの対応の仕方」など実臨床に即したのものから、前立腺癌のリスク分類で有名なD'Amico教授による「PSAスクリーニングについての講義」などもあり、いずれも大変勉強になりました。

一方、話は変わりますが、オーランドは世界で最も有名な観光地の一つであり、町中にテーマパークが存在します。それを象徴するかのように、今年のグランドレセプションはユニバーサルスタジオを貸し切って盛大に行われ、東の間の観光気分を味わうことができました。また会期中は晴天に恵まれ、ホテルから会場への行き帰りに、暖かいフロリダの気候も満喫しました。

総じて、大変刺激的で有意義な一週間を過ごすことができました。このような素晴らしい機会を与えて下さったJUA・AUA両学会の関係者の方々、ならびに推薦して下さいました本間之夫先生に、深く御礼申し上げます。今後も多くの若手の先生方がこの魅力的なプログラムを活用されることを願います。